

1 / 25

仏滅 水

旬のもの ネーブルオレンジ

果実の先端にポコッと穴が開いていて、それが“おへそ”に似ているため「へそみかん」とも呼ばれる事があります。生食用として利用することがほとんどなのですが、絞ってジュースにした時は、すぐに飲まないトリモノイドという成分のために苦味を感じます。香りがよく、多汁で適度な酸味と甘味があり、非常に美味です。選び方のコツは、へそがあまり大きくなく、へたが緑色の物が良いでしょう。ビタミンC、繊維が豊富です。

日本最低気温の日

1902（明治35）年、北海道旭川市で日本の気象観測史上最低気温の-41℃が記録されました。ちなみに、最高気温は2013（平成25）年8月12日に高知県江川崎で記録した41.0℃です。

中華まんの日

1902（明治35）年のこの日、北海道旭川で日本の観測史上最低気温マイナス41度が記録されました。そこで、寒い日には中華まんを食べて暖まってもらおうという意図で記念日を制定。この日に中華まんを食べると、風邪を引かない、受験に合格するといったジンクスもあります。

1 / 26

大安 木

旬のもの 鱈場蟹(たらばかに)

たらばかに科。カニではなくヤドカリの仲間です。旬は冬で脚を広げると1m以上にもなるものもあり、甘く濃厚な味は、カニの王様の名に恥じない美味しさです。名前のとおり、たらばのいる所でとれるカニであるところからたらばかにの名称がつけました。北海道以北か日本海沿岸が主産地で、焼いたりゆでたりして食べると絶品です。

文化財防火デー

1949（昭和24）年、奈良の法隆寺金堂の火災により、貴重な壁画などを焼損しました。これをきっかけに、翌1950（昭和25）年に文化財保護法が制定され、1955（昭和30）年に文化庁と消防庁がこの日を「文化財防火デー」と決めました。各地で文化財の防火訓練が行われています。

コラーゲンの日

コラーゲンという言葉がまだ一般に馴染みの薄い時代、日本皮革研究所（現（株）ニッピ）の研究者・西原富雄氏がコラーゲンの可溶性に成功して特許を出願した日に由来して制定。この技術の開発が化粧品や食品などコラーゲンを広く製品化することを可能にし、その後のコラーゲン研究を大きく進める出発点となりました。